

10 流域の原風景を取り戻し次代につなぐ

『四万十』水と共に生きる郷 再生プロジェクト



団体名 **橘若者会**

主な活動地域 **高知県四万十市西土佐橋**

目的

四万十川の中流域にある西土佐橋地域は、過疎化・高齢化により耕作放棄された農地や荒廃した森林が増大し、谷川の水量の減少、さらに四万十川の水生生物の減少など様々な影響が出始めている。そこで、山の適切な間伐や広葉樹の植樹で保水力のある山を育成する一方、放置された田畑を開墾し、昔ながらの農村文化の継承に努める。子ども達にも参加を促して、四万十川の原風景、『水と共に生きる郷』の再生を目的に活動する。

実施内容

地域の力に他団体の協力も得て、山や田の手入れをして、きれいな水を守ることから始める。山は適度な間伐と、針葉樹と広葉樹のバランスを考えた植樹で再生する。耕作放棄された田畑は、麦畑・野菜畑として復元して四万十川市流域の原風景を取り戻す。その際、農業に携わってきた高齢者の知恵を借り、農業を共に楽しむ地域の憩いの場として、子ども達にも地域の文化を伝えていく交流の拠点とする。また、農業用水などに使われなくなった水を再利用するために水車を設置し、流域でとれた米の精米・麦粉作りに活用する。将来は小水力発電を行い、鹿や猪の害から守る電気牧柵のエネルギーなどに利用する。

選考委員のひとこと

将来を担う子ども達と一緒に活動して環境学習の場に、また、本来の四万十川の水の豊かな原風景を地域振興の呼び水に、という思いが強く感じられた。インタビュー時に高齢に見えた人が、視察では別人のようにバイタリティーあふれてみえるのは、そのせいだろうか。 TOTO 総務部 Sさん記

ボランティアに参加しよう!

★農地開墾開始・人工林間伐開始

2009年12月(～2010年9月)

★体験交流(ドングリの実を植える)

2010年 1月

★体験交流(間伐)

2010年 3月

★水のエネルギー活用の調査研究開始

2010年 4月



この活動を四万十川本・支流域復興への呼び水に



支流を前に説明を受ける選考委員



耕作放棄された田畑